六月 二十八 日（水）二校時
三原市立糸崎小学校　三年一組
音楽科「 拍のながれにのってリズムをかんじとろう 」
第二時

授業構成図

本時のねらい
反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムを作ることできる。

キャリア教育の視点☆
リズムやフレーズに対して自分の考えをもち，積極的にまとまりのあるリズム曲を作ろうとしている。（やればできると考えて行動する力）

目指す子どもの姿
Sどんな音符を使っても反復や変化などの音楽の仕組みを生かし、まとまりのあるリズムを作る。
A反復や変化など音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムを作る。

つまずきをなくすために
判断
リズムの反復や変化を聴き取ることができない。
原因
音符のリズムに対する感覚が低い。拍子の流れにのることができない。
←
毎授業の始めに、手拍子でリズムリレーや音符クイズなどを取り入れる。

見通しや実行方法を発想する場面

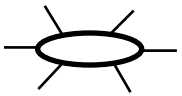
⑤クループ交流する。
T自分が作ったリズムを手拍子しましょう。お互いのリズムを手拍子しましょう。リズムの間違えは教え合いましょう。
◈個グループ活動を助言し見守る。全員発表できるように個別指導もする

⑥自分の考えたリズムを発表しする。☆
①みんなの前で発表しましょう。どんな発表の仕方をすると楽しくなるかな。
C発表した人の手拍子の後をみんなで同じリズムを手拍子すると追いかけっこになって楽しくなると思います。
Cグループで前に出て、止まらずにリズムリレーをしたら楽しくなると思います。
Tこの２つの方法で発表しましょう。

⑦振り返りをする。
T今日の振り返りをしましょう。
C今日私はSでした。反復や変化もイメージマップを使うと考えを広げることができました。リズム作りは難しいと思っていたけどできたので、うれしいです。

対象と既有の知識とを関連づけ，対象が生じる原因を類推

思考スキル
「 関連づける 」
↓
思考ツール
「 イメージマップ 」



課題を見出す場面

①３つのリズムを手拍子する。
Tこの３つのリズムを手拍子してみましょう。感想を言いましょう。
Cリズム１はずっと繰り返しだけど、リズム３は繰り返しがないです。
Cリズム２は手拍子がやりやすくて一番楽しかったです。
Cリズム３は、難しくてバラバラな感じでよくわかりませんでした。
Tどうしてリズム２は、手拍子しやすくて楽しかったのだろう。
C繰り返しがあって、リズムにのりやすいし、そのあとのちょっと変わったリズムが曲にピッタリ合っていたからです。

②音楽用語を知る
Tみんなが言ってくれた手拍子しやすかった理由のことを音楽の言葉にすると「反復」「変化」といいます。この２つのことを使って今日は何をしようかな。

③学習課題をたてる。
反復や変化を使ってまとまりのあるリズムの曲を作ろう

④ループリックの設定をする。
T１・２小節目の音符を中心に入れてイメージを広げましょう。☆
【イメージマップ】
◈個机間指導し「変化」作りに困っている児童に個別指導する。

対象と既有の知識との「ズレ」を認識